

(別紙)

令和8年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

1 番議員 清水 友紀

ホタル舞う水路と自然環境を未来へつなぐために

本町を巡る水路は、地域の基幹産業である農業を支えるとともに、美しい景観や歴史を今に伝える貴重な地域資源であり、町の大きなアピールポイントである。しかし、昭和50年代の<sup>ほ</sup>圃場整備で構築されたコンクリート水路は、施工から40年以上が経過し、老朽化が進行している。また、一昨年从去年まで続いた文命用水取水トンネル工事に伴う長期断水は、ホタルをはじめとした水辺環境へ一定の影響を与えたものと考えられる。

私たち大人には、先人が築いた水路や農業・農村の営み、そして豊かな水や自然と共にある暮らしを、将来の世代に引き継ぐ責任がある。

そのために、水路や自然環境を地域資源として保全・活用し、地域の魅力向上や交流人口の拡大につなげていく必要があると考え、次の項目について問う。

- 1 水路の経年劣化によるリスクを、町はどのように把握・評価しているか。
- 2 ホタルが生息できる水辺の自然環境と美しい景観を目指した水路整備及び化学肥料を減らした環境に優しい営農の考えは。
- 3 水路が巡る町としての価値向上や地域資源として活用の考えは。